

J-STAGE Data での論文根拠データの公開について

日本森林学会誌(以下「日林誌」)では、研究成果の世界的な共有を目指したオープンサイエンスの推進に資するため、日林誌に掲載された論文(原稿種別での総説、短報、その他を含む)に関連する研究データ(以下「論文根拠データ」。定義の詳細は後述)を公開可能としています。日林誌の論文 PDF を公開している J-STAGE が提供するデータリポジトリサービス「J-STAGE Data」において、論文根拠データが無料で公開可能となっています。論文根拠データは論文本体とは別の DOI が付与されます。

J-STAGE Data での日本森林学会のサイトは <https://jstagedata.jst.go.jp/JJFS> です。

日林誌では、論文の電子的補助資料として電子付録をつけることも可能ですが、J-STAGE Data と電子付録には主に以下のような違いがあります(以下のサイトもご参照下さい：https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_JstageData_policy_for_members.pdf)。

なお、同一の内容を両者で公開することは出来ません。

電子付録	J-STAGE の公開記事(ここでは日林誌掲載論文)と切り離して、独立して引用できない補足資料(例えば、論文自体に掲載するほどの必要性はないものの、理解を助けるために有効な図表など)
J-STAGE Data	データ公開の国際的な基準と考えられている FAIR 原則(https://biosciencedbc.jp/about-us/report/fair-data-principle/)に則り、J-STAGE の公開記事(日林誌掲載論文)とは別に独立して引用できる、かつ研究コミュニティや第三者に向けての再利用可能なデータ(「3. 公開対象にできるデータ」をご参照下さい)

日林誌編集委員会としては、他の研究者に利用頂きたいデータの公開には、J-STAGE Data の利用をおすすめします。

論文が受理されましたら、編集委員会の J-STAGE Data 担当より著者に論文根拠データの公開の案内をお送りしますので、是非ご利用をご検討下さい。J-STAGE Data のご利用の検討にあたっては、当学会の「日本森林学会誌に掲載された学術論文のデータの公開に関する基本方針(以下「データ公開の基本方針」。https://www.forestry.jp/content/images/2025/06/jjfs_data_20250528.pdf)」をご一読ください。そして、ご利用を希望する場合は、日林誌 J-STAGE Data 担当(jjfs@capj.or.jp)に、上記案内に返信する形で連絡してください。

なお、論文根拠データを「J-STAGE Data」以外のデータリポジトリサーバーにて公開を検討されている(あるいは公開されている)方は投稿時に編集部までご相談ください。下記と同等な基準を満たしていれば、論文 PDF を公開している J-STAGE のウェブページにある Data Availability Statement に登録しデータリポジトリサーバーとの連携を行います。

以下では、J-STAGE Data での論文根拠データの公開作業の進め方について説明いたします。

1. データ公開のメリット

J-STAGE Data で論文根拠データを公開することのメリットとして、

- ・ 日林誌の限られた誌面では紹介しきれなかったデータを公開できる。
- ・ 資金配分機関が研究プロジェクトで得られたデータの公開を求めている場合に対応できる。
- ・ DOI が付与されてデータが公開されることで、国内外の論文における当該データの利用状況を包括的に把握できる。
- ・ 研究や情報交換のネットワークを広げられる可能性がある。
- ・ 機関によってはデータの公開自体が研究業績としてカウントされる。
- ・ 公的な機関（国立研究開発法人科学技術振興機構（JST））が運営するプラットフォームを利用することでデータを長期的にわたって保全できる。
- ・ データ形式が審査されることで客観的で汎用性のあるデータ形式となる。

などがあげられます（その他、第三者による論文の検証に用いられることもあります）。

2. データの帰属

J-STAGE Data にて公開された論文根拠データは、日本森林学会や JST ではなく著者自身（あるいは著者の所属する機関のデータポリシーによっては所属機関）に帰属します。日林誌に掲載された論文は学会に著作権が譲渡されますが、論文根拠データにはその扱いが適用されません。また、自身が著作権者でない論文根拠データを公開する場合、著作権所有者に公開の承諾を得てください。

J-STAGE Data で公開された論文根拠データは基本的にオープンアクセスとなります。データに設定された「ライセンス」の範囲内で誰でも自由に使用できます。ただし、一定の非公開期間を設けることもできます（ライセンスや非公開期間の設定については後述します）。

なお、「データ公開の基本方針」に示したとおり、データは著者あるいは著者の所属する機関に帰属するため、日本森林学会では、公開されたデータの利用者がデータを用いて行う一切の行為について何ら責任を負うものではありません。

3. データの定義および公開対象となるデータ

研究に関係するデータは、以下のように整理されます。このうち、J-STAGE Data では論文根拠データ、引用・集約した公表データ、電子付録では用いていない付図・付表やその汎

用データが公開対象となります。これらは、自然科学・人文科学・社会科学上の価値を持つデータ、汎用的・長期的に利用できるデータと位置づけられるものです。

●公開の対象とはならないデータ

個人的なメモ、研究ノート、研究日誌、研究グループ内の打ち合わせ議事録、一時的な情報、有体物（試料、標本、作品・収蔵品など）など。

●何らかのリポジトリで公開対象となりうるデータ（以降、「研究データ」とよびます）

- ・ 調査・観測・実験で得られた形式の整ったデータ（ソースデータ）
- ・ ソースデータから派生して作成されたデータ（派生データ）
- ・ 論文の根拠となるデータや研究成果として最終的に得られたデータ（根拠データ）
- ・ 新たに開発した 調査・観測・実験・分析手法、使用した器機・環境等の説明資料（動画・画像）
- ・ 新たに作成し用いられたデータベース、データベース管理システム、分析・可視化ソフトウェア、計算用のソースコード、プログラム、機械学習アルゴリズム等

○研究データのうち **J-STAGE Data** で公開できる「論文根拠データ」

- ・ 調査・観測・実験・分析で得られた数値等を表などの一般的な形式でまとめ、論文作成時に参照したデータ
- ・ 論文作成時に参照した、あるいは論文に掲載した写真、グラフ、静止画像、動画など
- ・ 論文で発表したソフトウェアのコードや実験・解析・調査のプロトコルなど

このように、論文根拠データの種類は多岐にわたっています。論文で用いられた論文根拠データのうち、どれを公開し、どれは公開せずにおくかは、著者自身に選んでいただきます。

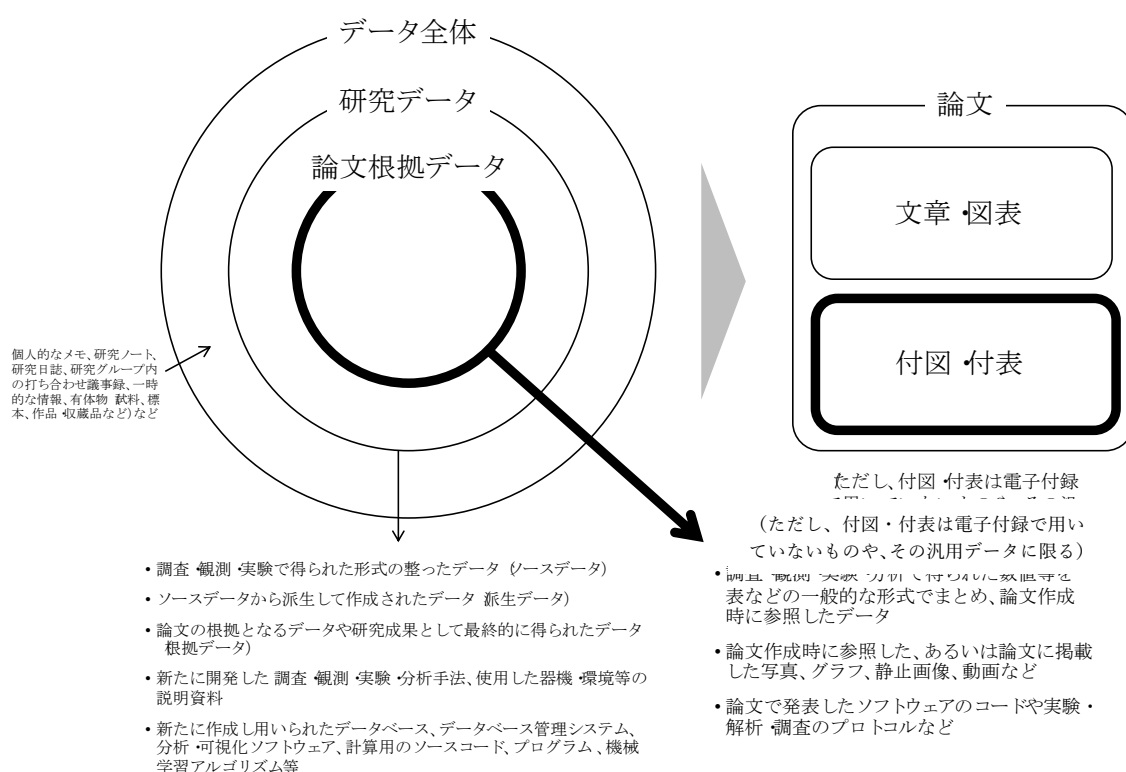
○公表されているデータを集約したものも **J-STAGE Data** で公開可能

次頁の図には記載していませんが、既往論文や公刊図書等示された数値情報・国や自治体等が公表している資料の数値を引用・利用し、著者がそれらを解析用に集約・整理して作図・作表などに用いられた場合、その集約・整理された情報も公開できる対象に含まれます。公開する場合は、論文根拠データのメタデータ（後述）か、論文根拠データの本体に元の資料情報（文献情報、掲載 URL など）を示していただくこととなります。

なお、これは著作権法における「引用」に該当するもので、元の論文・公刊図書・資料の著作権者の許諾は不要です。

○電子付録の付図・付表も改変し形式を調整の上で **J-STAGE Data** で公開可能

論文のもととなったデータのほか、論文本体の一部とも言える電子付録の付図・付表についても、改変し形式を調整した上で、第三者が再利用可能な汎用データと位置づけることができれば、J-STAGE Data での公開も可能です。ただし、同一の内容を両方で公開することは出来ません。P5 もご参照下さい。



4. 事前の作業

論文根拠データの公開を希望される場合、以下に該当するものが存在し、かつその中にデータ公開に関連する部分が記載されているかどうかをご確認ください。

- ・ 所属する大学・機関のデータポリシー等
- ・ 共著者との申し合わせ事項
- ・ 共同研究の契約の内容
- ・ 当該研究プロジェクトの資金配分機関がデータ公開について示している指針等
- ・ 当該研究プロジェクトの資金配分機関に提出されたデータマネジメントプラン

上記において、データの公開条件、公開可能なデータの範囲、一定期間非公開とする場合の期間 (エンバーゴ期間といいます) などが規定されている場合、それらに準拠していただ

くこととなります。

5. データの準備

以上の確認を終えたら、論文根拠データのうち公開されるものを以下の要領で電子ファイルにて用意します。

●データ本体

- ・ 1 ファイルあたりの容量は最大で 5GB です。
- ・ 公開データは国外からも利用される前提のため、データの入力には原則として半角英数字を使用してください。
以下のような形にすることで英和併記も可能です。

例 1： 生物名に学名（半角英数字）と和名（全角文字）の両方を示す

例 2： 表形式データの 1 行目の英語標記の見出しに和訳を括弧に入れて添える

- ・ ファイル名は半角英数字のみ使用してください。全角文字や半角カタカナは使用しないでください。
- ・ ファイルのデータ形式は特定アプリケーションに依存しないもの（csv、kml、jpg、mp4 など）を使用してください。ゲノム情報など分野において標準とされている形式を使用してください。なおデータを zip 等で圧縮してアップロードすることも可能ですが、J-STAGE Data のデータプレビュー機能を活かすため、なるべく圧縮せずにアップロードすることを推奨しています。
- ・ 最も一般的なデータ形式である表形式（csv など）を使用する場合は、2020 年 12 月 18 日に総務省統計局が発表した「統計表における機械判読可能なデータの表記方法の統一ルール」(https://www.soumu.go.jp/main_content/000723626.pdf にて閲覧可能) に従って作成してください。

※ 政府統計の表に関するものですが研究データにもあてはまる内容です。

- ・ テキスト形式（csv、html など）を使用する場合の文字コードは utf-8 を使用してください（shift-JIS 等のファイルだと J-STAGE Data のデータプレビュー画面において文字化けすることが確認されています）。

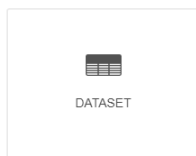
※ utf-8 以外を用いたテキストファイルの場合、メモ帳などのテキストエディタでファイルを開き文字コードとして utf-8 を選択して保存する等により、ファイルの文字コードを変換することができます。

※ エクセルから csv を作成する場合は、保存メニューでファイルの種類を「CSV UTF-8 (コンマ区切り) (*.csv)」とすると、utf-8 の csv を作成できます。

- ・ その他に機関ごとのデータポリシー等で規定されている方針があればそれに準拠してください。
- ・ 論文の電子付録の付図・付表を改変した上で J-STAGE Data で公開する場合は、上記のデータの仕様になるようファイルを調整してください。特に付図がグラフである場合、グラフのままでは掲載できない場合が多いのでご留意下さい。

●アイコンとなる画像（必須ではありません）

データ本体（例えば表形式の csv ファイルなど）を 1 つ公開した場合、J-STAGE Data の画面には、



のように単純なアイコンが表示されます。このアイコンをクリックすることでデータの説明やダウンロードの画面に移ります。日本森林学会では、データが人目を引きより利用されるようにするため、このアイコンを研究に関する画像に変更することを推奨しています。データ本体の前に、画像（例：研究の全体像を表す概念図、代表的なグラフ、調査地の写真など）も公開対象に含めておくと、その画像がアイコンとして表示されます（具体的な例は J-STAGE Data のサイトをご参照ください）。

●内容面での注意事項

- ・ 分野や研究コミュニティの慣習等で公開が制限される情報（例：絶滅危惧種の生息場所が特定できるような情報）はデータから削除してください。
- ・ 個人情報（個人が識別される情報や個人の財産の情報）はデータから削除してください。
- ・ 企業や自治体が識別される情報についても、必要に応じ、個人情報に準じて扱ってください。
- ・ 国際交渉関連、防衛機密など国家安全保障や国際関係などに係る機微情報はデータから削除してください。
- ・ その他に機関ごとのデータポリシー等で規定されている方針があればそれに準拠してください。

●データに設定するライセンス

論文根拠データの公開に際して、ライセンス（第三者によるデータの利用条件）を設定していただく必要があります。日本森林学会としてはクリエイティブ・コモンズ 4.0 の CC BY-NC-ND（公開された論文根拠データを使用する場合は非営利目的に限定し、改変は認めず、成果を発表するときはクレジットを明記する）を標準としております。

データアップロードの際のメタデータの（次項参照）入力画面ではデフォルトで CC BY となっていますので、手動で CC BY-NC-ND を選択してください。なお、所属機関のデータポリシー等で他の条件が推奨されている場合は、それに該当するライセンスに変更していただいて構いません（たいいていの利用条件は CC に置き換えることができます）。

※ CC ライセンスの詳細については、<https://creativecommons.jp/licenses/> をご参照ください。また、ネット上にわかりやすい解説もあります（例 https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/pub_20181031Seminar02.pdf）。

●メタデータ

論文根拠データがどのような内容かを説明するメタデータを作成していただく必要があります。メタデータにはいくつか必須項目がありますが、以下のものは新たに著者に用意していただくこととなります。

- 論文根拠データのタイトル（英語）
- 論文根拠データの概要説明（英語。半角 5000 字以内）。
- キーワード（英語）
- 研究資金提供機関の研究ファンド名を記入する必要がある場合は、その英語標記。
- エンバーゴ期間を設ける場合、公開予定の日時の決定、およびデータを一定期間非公開とする理由の文章（英語）

※ メタデータの詳細については、J-STAGE Data をご利用の方に作成にあたっての補足資料を追って送ります。

項目名	必須	文字制限等	入力する内容 注意点など
Title	*	半角3 文字以上 500 文字以下	【英語入力のみ】データのタイトル。デフォルトではファイル名がそのまま表示されますが、データの内容を示すタイトルとしてふさわしいものに書き換えてください。J-STAGEの記事のタイトルとは離れてデータについて示すタイトルになりますので、ほとんどの場合、J-STAGEの記事のタイトルとは異なるタイトルになります。 この項目では次のタグが使用できます： <i><small><sub><sup>
Authors	*		【英語入力のみ】データの著者。J-STAGEの記事の著者と異なっている場合もかまいません。 氏名の一部をタイプした際に示される候補に該当者がいれば、それを選択してください。該当者がいない、よくわからない場合は候補からは選択せず、Add author details をクリックして詳細を入力し、Save details を押してください。複数の氏名を入力する場合には、この手順を繰り返してください。
Categories	*	ドロップダウンメニューから最低ひとつを選択	データが関連する分野としてふさわしいものをメニューから選択してください。複数の分野を選択することもできます。分野名の一覧は別資料: J-STAGE Data 分野名 をご覧ください。
Journal	*	ドロップダウンメニューから最低ひとつを選択	ジャーナル名が正しいことを確認してください。
Item type	*	ドロップダウンメニューからひとつを選択	データの種類として最もふさわしいものをメニューから選択してください。
Keywords	*	最低ひとつのキーワードを入力後、Enterキーを押下して確定	【英語入力のみ】データに関連するキーワードとしてふさわしいものを入力してください。数文字タイプした際に表示される候補に該当キーワードがあれば、それを選択してください。複数のキーワードを入力する場合には、入力後に必ずEnterキーを押下して確定してから次のキーワードを入力してください。
Description	*	半角4 文字以上 5,000 文字以下	【英語入力のみ】データの説明文を入力してください。J-STAGEの記事とは離れてデータについての必要十分な説明が記載されている必要があります。 この項目では次のタグが使用できます： <address><h2><h3><h4><h5><h6><blockquote><dd><dl><dt><hr> <p> <a> <cite><code><i><small><sub><sup><table><td><th><tr>
Funding		候補から選択するか、選択すべき候補がない場合には250 文字以下で助成機関名のみ 助成金の全情報ではない)をマニュアル入力	データについて関連する助成金情報を入力してください。データと関連するJ-STAGE 記事の謝辞 (Acknowledgement) などにおいて助成金情報が記載されている場合は、原則として入力してください。なお、ここに入力するのは研究助成機関による研究助成金情報のみで、奨学金や企業との共同研究等による資金提供は該当しません。 助成金のタイトル (英語)やIDの一部を入力すると、システムが自動的にDimensions 内の候補を表示します。該当するものがあれば選択してください。誤入力を防ぐため、助成金IDの入力を推奨します。研究課題統合検索 (GRANTS) に登録されている体系的課題番号や研究課題/領域番号を入力すると、候補が表示されます。 選択すべき候補がない場合には助成機関名 助成金の全情報ではない)のみを入力してください。そのほかの情報が入力されている場合には削除してください。

日林誌編集部による補足

データに英語のタイトルをつけていただきます。論文のタイトルとは異なる場合がほとんどかと思います。

データ作成者の氏名をご入力ください 論文の著者全員が該当するとは限りません)

J-STAGE Data 分野名のリンク先
https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/J-STAGE_Data_categories.pdf

Figure, Media, Dataset, Poster, Journal Contribution, Presentation, Thesis, Software, Online Resource, Preprint, Book, Conference Contribution の12 種類があります。ほとんどの場合、Datasetをお選びいただくこととなると思いますが、搭載するデータの種類に応じて、適宜お選びください。
データのキーワードは、論文のキーワードと異なっても構いません。

論文の要旨の貼り付けではなく、データそのものの概要を説明する文章をご入力いただきます。
 なお、5000字では足りない場合、readme.txt や readme.docx 等の別ファイルに記載していただき、それをデータの一部に含めてください。

必要に応じてご入力ください。特に、プロジェクトで得たデータを公開すること強く推奨している研究資金配分機関 (JST など) からの助成金による研究の場合には、入力されることを推奨します。
 科研費やNEDO など、主なFund は自動的に候補が表示されます。
 ID などを入れても候補が表示されない場合、助成金情報ではなく助成機関名 (英語) のみを入力してください。
 なお、場合によっては、同一機関からの複数の助成金の情報がありいずれも候補が表示されないことがあります。この場合、助成機関名 (英語) は1件入力するのみで問題ありません。

Dimensions のリンク先
<https://www.dimensions.ai/>

GRANTS のリンク先
<https://grants.jst.go.jp/>

項目名	必須	文字制限等	入力する内容 注意点など	
License	*	ドロップダウンメニューからひとつを選択	データの二次利用に関するライセンスの種類を選択してください。ライセンス名の一覧および定義等へのリンクは別資料：J-STAGE Data ライセンス をご覧ください。	日林誌編集部による補足 森林学会では、CC BY-NC-NDをデフォルトとしておりますが、変更していただいても構いません。 J-STAGE Data ライセンスへのリンクは以下の通り： https://www.jstage.jst.go.jp/static/files/ja/J-STAGE_Data_licenses.pdf 公表されている数値を用いている場合、それらの掲載されているURLをご入力ください。例 国 県等の発表した数値を取捨選択して論文の元データとして分析している場合)
Reference			データについて関連するURLがあれば入力してください。公開データが関連するJ-STAGE記事についてはここでは入力せずに、後述のArticle DOIに入力してください。	
Manuscript title			【英語入力のみ】データと関連するJ-STAGE記事の投稿時のタイトルを入力してください。英語のタイトルがない場合は、ここで英語のタイトルを決定する必要があります。任意項目ではありますが、発行機関への連絡のため必ず入力してください 最終的には、発行機関により削除されます。	日林誌では必須とします。論文の英語タイトルをコピー＆ペーストしてください。
Manuscript number			J-STAGE記事投稿時の整理番号等があれば入力してください 最終的には、発行機関により削除されます。	空欄のままで結構です。
Article DOI			J-STAGE記事のDOIが確定している場合は入力してください 最終的には、発行機関により削除されます。	編集部で入力いたしますので、空欄のままで結構です。
Corresponding author email address	*		データの連絡先著者のメールアドレスを入力してください。	日林誌では必須とします。論文投稿時に使用されたメールアドレスをご入力ください。
Title (in Japanese)			データのタイトル (日本語表記)を入力してください。	日林誌では必須とします。日本語で検索される際の情報として必要です。
Description (in Japanese)		10 文字以上 10 0 0 0 文字以下	データに関する説明文 (日本語表記)を入力してください。	日林誌では必須とします。日本語で検索される際の情報として必要です。
Manuscript title (in Japanese)			データと関連するJ-STAGE記事の投稿時のタイトル (日本語表記)を入力してください。J-STAGE記事に日本語のタイトルがある場合には、必ず入力してください。	日林誌では必須とします。日本語で検索される際の情報として必要です。
Authors (in Japanese)		2 文字以上 10 0 0 0 文字以下	データの著者 (日本語表記)を入力してください。	日林誌では必須とします。日本語で検索される際の情報として必要です。
Copyright	*	1 文字以上2 5 0 文字以下	【英語入力のみ】© マークに続けてこのデータの公開年および著作権者名を入力し ⑥ 公開年 著作権者」の形式で表記します。著作権者は、Authorsの場合、発行機関の場合、その他の場合があります。	日林誌では必須とします。著作権者がAuthorと等しい場合は、Author名を英語で入力してください。

また、メタデータに J-STAGE Data のファイルに関連する日林誌掲載論文を説明・引用する際は、以下の例を参考にして下さい：

①

Consists of eqs. (1)-(5) in RELATED MATERIALS 1.

RELATED MATERIALS 1.の eqs. (1)-(5)からなります

②

Please see RELATED MATERIALS 1 for more detail.

詳細については RELATED MATERIALS 1.を参照して下さい

注：RELATED MATERIALS 1 は関連する日林誌掲載論文です。J-STAGE Data で公開された際、RELATED MATERIALS 1 は関連する日林誌掲載論文のタイトルが画面に別途表示されます。

英語メタデータ項目で HTML タグは使用できますが、日本語メタデータ項目では使用できません。

データの審査時に著者に差し戻すこともあり、その際はメタデータを再入力いただくこととなりますので、メタデータは別ファイルにまとめて別途お手元に保存しておくことを推奨しています。

●コピーライト

コピーライトとして「© 公開年 著作権者名(英語)」を記載してください。公開するデータについて、自身が著作権者でない場合は、著作権者に対象のデータを J-STAGE Data から公開する、つまり、CC BY を付与してオープンアクセスとして公開することを、著作権者から許諾を得て下さい。

著者の行う作業

論文データを公開する場合

事前の確認作業

- ・ 所属機関のデータポリシー等
- ・ 共著者との申し合わせ事項
- ・ 共同研究契約の内容
- ・ 資金配分機関の指針等
- ・ 資金配分機関に提出されたDMP

電子付録に用いない
付図・付表や
その汎用データを
公開する場合

付図・付表

- ・ ファイル形式の調整

データ等の準備

- ・ データ本体
- ・ メタデータ
- ・ ライセンスの決定

データのアップロード

(審査の結果、修正・再アップロードを依頼する場合あり)

J-STAGE Data 担当の行う作業

審査

主に形式面のみ

メタデータの公開

データ本体の公開

論文の掲載された学会誌の発行日
※ ただしエンバーゴ期間が設定されている場合、
その期間中はメタデータのみを公開

6. データのアップロード

以上の準備が完了後、日林誌 J-STAGE Data 担当者 (jjfs@capj.or.jp) に連絡してください。なお、エンバーゴ期間を設けるデータの場合、前項で決めていただいたメタデータのうち、公開日時およびデータを非公開とする理由を記載した文章も同時にお送りください (メール本文へのベタ打ちで結構です)。これは、日林誌 J-STAGE Data 担当者がエンバーゴ期間を設定する作業を行うためです。

上記のご連絡をいただいたら、日林誌 J-STAGE Data 担当者から折返し論文根拠データをアップロードするリンク、ログイン情報、および作業手順をお知らせします。それに従っ

て著者にデータをアップロードしていただくことになります。

7. データの審査

アップロードされたデータは、J-STAGE Data 担当編集委員により、メタデータの入力内容及びデータ本体の形式面が審査されます。データ本体の内容面については、著作権者（著者または機関）の責任においてアップロード前に確認していただくこととなります。データに何らかの問題が見つかり、かつ J-STAGE Data 担当編集委員では修正が難しい場合は、著者による修正対応後、再アップロードしていただくことになります。

8. 公開のスケジュール

現在、日林誌で受理された論文は原則として以下のスケジュールにより J-STAGE でオンライン掲載・公開されます。

11 月下旬前の受理 → 12 月中旬校了 → 1 号に掲載(1 月)、論文 PDF オンライン公開

12 月中旬前の受理 → 1 月上旬校了 → 2 号に掲載(2 月)、論文 PDF オンライン公開

1 月中旬前の受理 → 2 月上旬校了 → 3 号に掲載(3 月)、論文 PDF オンライン公開

2 月中旬前の受理 → 3 月上旬校了 → 4 号に掲載(4 月)、論文 PDF オンライン公開

3 月中旬前の受理 → 4 月上旬校了 → 5 号に掲載(5 月)、論文 PDF オンライン公開

4 月下旬前の受理 → 5 月中旬校了 → 6 号に掲載(6 月)→論文 PDF オンライン公開

5 月下旬前の受理 → 6 月中旬校了 → 7 号に掲載(7 月)、論文 PDF オンライン公開

6 月下旬前の受理 → 7 月中旬校了 → 8 号に掲載(8 月)、論文 PDF オンライン公開

7 月中旬前の受理 → 8 月上旬校了 → 9 号に掲載(9 月)、論文 PDF オンライン公開

8 月下旬前の受理 → 9 月中旬校了 → 10 号に掲載(10 月)、論文 PDF オンライン公開

9 月下旬前の受理 → 10 月中旬校了 → 11 号に掲載(11 月)、論文 PDF オンライン公開

10 月下旬前の受理 → 11 月中旬校了 → 12 号に掲載(12 月)、論文 PDF オンライン公開

掲載論文の論文根拠データの公開スケジュールは以下のようになります。

●エンバゴ期間が設定されていない場合

論文掲載号の発行日に論文根拠データのメタデータと本体が同時に公開されます。

●エンバーゴ期間が設定されている場合

論文掲載号の発行日に論文根拠データのメタデータのみが公開されます。設定された公開日に論文根拠データの本体が公開されます。

なお、データのアップロード作業が論文のオンライン公開よりも後になった場合、アップロード後に論文根拠データのメタデータのみが公開され、設定された公開日に論文根拠データの本体が公開されることになります。

9. 分野別リポジトリに搭載されているデータに関して

完全なオリジナルデータではなく、外部サーバーの分野別リポジトリ等に搭載されているデータ（例えばゲノム情報など）の一部をダウンロード・解析して著者が論文を発表され、かつ、そのデータに DOI が付与されていない場合、当該データについて、そのリポジトリへのリンク情報を J-STAGE Data に搭載して DOI を付与することができます。

この作業は日林誌 J-STAGE Data 担当者が行うこととなります。論文のデータ公開を希望することをお知らせいただくメールにおいて、分野別リポジトリのデータの公開についてもご記入ください（詳細は案内メールに記載します）。

10. データの追加・修正

論文根拠データの公開後、そのデータに追加や修正をする場合は、日林誌 J-STAGE Data 担当者へ連絡をお願いします。データの最初のアップロード時と同様の審査を行った上で公開します。その際は論文自体の記載事項の修正も必要となるため、その作業料を著者にご負担いただきます。作業料については、別途ご連絡します。

11. その他

ご意見、ご不明な点などがありましたら、日林誌編集委員会 J-STAGE Data 担当 (jjfs@capj.or.jp) 宛にお知らせください。

2021 年 3 月 25 日制定

2021 年 6 月 1 日改定

2021 年 7 月 5 日改定

2021 年 7 月 12 日改定

2021 年 8 月 10 日改定

2021 年 8 月 26 日改定

2021 年 9 月 28 日改定

2021 年 11 月 11 日改定

2023 年 4 月 14 日改定

2023 年 12 月 4 日改定

2024 年 4 月 22 日改定

2024 年 9 月 30 日改定

2025 年 5 月 28 日改定